

令和3年度事業報告書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日)

社会福祉法人 兵庫盲導犬協会

事業部門

I 盲導犬貸与事業

視覚障害者の安全で自由な歩行を図り、盲導犬を貸与するため、次の事業を行った。

兵庫県在住の男性1名(代替)、女性1名(代替)、大阪府在住の男性1名(代替)の合計3名に貸与した。

II 社会参加訓練事業

盲導犬使用者及び使用予定者に対する歩行、及び視覚障がい者が社会に参加するため、次の訓練を行った。

- ① 盲導犬貸与希望者に対する面接を3件行った。
- ② 盲導犬使用者のフォローアップとして15名、延べ55回の歩行訓練指導及び相談を行った。
- ③ 盲導犬使用者及び盲導犬希望者の研修会「第15回ワンダフル会」を開催予定だったが、コロナ禍のため、中止した。

III 盲導犬育成事業

盲導犬を育成するために、次の事業を行った。

- ① 繁殖
盲導犬候補犬及び繁殖犬確保の為、繁殖事業において協力関係のAGBN(ASIA GUIDE DOGS BREEDING NETWORK)実務者会議に参加し、国内外の盲導犬育成施設及び優良な犬を保有するブリーダーとの交流を行った。
盲導犬候補犬確保を目的とし、当協会で生まれたパピー頭数5頭。
(交配件数は1回、内1回出産した。)
他協会より、計1頭譲り受けた。
- ② パピーの育成
令和3年度は、13頭の子犬をパピーウォーカーに委託し、12頭の子犬の委託を修了した。
パピーウォーカーに対して、巡回指導を計130回、併わせて電話での指導を行った。
- ③ 盲導犬候補犬の訓練
盲導犬候補犬の訓練において稟性・健康評価ならびに定期的な訓練評価を実施し、適性

のある犬に対し候補犬の訓練を行う。適性のない犬の中で PR 犬として活用できる犬を選定し、啓発活動用に訓練を実施した。

④ キャリアチェンジ犬

広告媒体などを積極的に活用し、キャリアチェンジ犬譲渡希望者を継続的に募集し、確保に努め、キャリアチェンジ犬 11 頭を譲渡した。

⑤ リタイア犬

広告媒体などを積極的に活用し、リタイア犬譲渡希望者を継続的に募集確保に努め、リタイア犬 7 頭を譲渡した。

犬舎状況(令和 4 年 3 月末時点)

活動盲導犬 15 頭/ 累計 73 頭

協会所有犬	頭数
訓練犬	6
繁殖犬	13
パピーウォーカー委託中	12
PR 犬	3
その他 (キャリアチェンジ、リタイア待ち)	5
合計	41

譲渡犬	今期頭数	累計頭数
リタイア犬	7	94
キャリアチェンジ犬	11	218

IV 盲導犬歩行指導員、盲導犬訓練士および職員の研修

- ① 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会の盲導犬訓練士認定実技試験を受け、1 名が合格した。
- ② 盲導犬訓練士学科試験 4 名合格した(8 月、12 月の計 2 回実施)
- ③ 職員を次の研修会に派遣し、資質向上を行った。
 - ・神戸ロイヤルグルーミング学院の研修に 1 名 5 回実施
 - ・盲導犬育成ジャパンセミナーオンラインに参加した。

V 盲導犬啓発普及事業

盲導犬の必要性について社会全般への啓発を図り、盲導犬育成を推進するため、次の事業を行った。

- ① 盲導犬希望に関する問い合わせが13名(30件)あり、その内、3名に対して、盲導犬の体験歩行を実施し、盲導犬貸与希望者を募るとともに広報誌「ワンダフル通信」の音声版の継続発行を通して、盲導犬に関する情報提供を行った。
- ② 今年度はコロナ禍の影響で学校講演の実施件数は前年より少なかったが、施設見学会や一般講演、各種イベントは前年より多く実施した。また、啓発資料の貸出しを次の通り行った。

イベント活動	計	18回
施設見学会	計	4回
特別見学会	計	3回
学校講演	計	69回(神戸市54校、姫路市7校、加古川市4校、その他4校)
一般講演	計	7回
資料(啓発パネル・DVD)の貸出し回数		4回
- ③ イベントや講演時に盲導犬と視覚障害についての正しい理解と啓発に努めた。
- ④ 街頭募金活動
10月以降姫路、西神、名谷、大丸前、三宮などで計18回実施した。
10月5件、11月4件、12月4件、1月4件、3月1件
- ⑤ 広報誌「ワンダフル通信」を年4回(4月・7月・10月・1月)発行。
視覚障がい者向けの音声版「ワンダフル通信」発行。
ホームページの更新を随時行い、協会のイベントや情報を発信した。
- ⑥ 啓発用資料等の充実を図り、渉外用協会紹介3つ折パンフレットとサンキューカードの配布に努めた。また盲導犬チャリティーグッズの新商品開発を行い、啓発活動で紹介し寄付を募った。(クリアファイル、ブロックメモ、トートバック)
- ⑦ 新聞・ラジオ等の取材を積極的に受け、ネット、紙面記事となった。
また、Facebook、Instagram等で情報発信を積極的に行った。
4月クラウドファンディングの期間中、神戸新聞とラジオ関西ネットニュースに掲載された。
- ⑧ 「第20回国際盲導犬デーin神戸」と「慰霊祭」
新型コロナウイルス感染のため、中止した。

VI 関係団体協力事業

- ① 神戸市西区ボランティアセンターと連携するとともに、定期的にメディア・広報誌にてボランティア募集情報を発信し、ボランティアの安定的な確保に努めた。
- ② 国際盲導犬連盟の正会員として、施設環境を常に国際レベルの基準に保つよう、定期的に見直し・修繕を行うよう努めた。
- ③ 認定NPO法人全国盲導犬施設連合会、AGBN、その他補助犬団体との相互協力を行った。

VII 相談事業

- ① 盲導犬ユーザーからの相談や苦情、一般市民からの盲導犬に関する相談や苦情に対して、迅速に対応した。
- ② 盲導犬ユーザー及び盲導犬の社会受容の推進のため、行政や関連団体と連携しながら調査及び研究を実施し2月のジャパンセミナーで発表した。

管理部門

(1) 個人会員・団体会員の増強

年4回広報誌「ワンダフル通信」を通じて情報発信を行い、盲導犬育成事業への継続的な支援をお願いするとともに、安定的な事業運営の為、イベントや講演等で新規会員入会の働きかけを行った。

新規会員数 37名

(2) 寄付支援者の増強

ご寄付いただく新たな方法として昨年より始めたクレジットカード決済(CANPAN 決済サービス)を継続的に行い、定着しつつある。

1000円～10000円の金額を用意した他、マンスリー会員(500円、1000円)にも登録でき、好きな時にご寄付いただけるようになった。

(3) 募金箱設置先の拡大

新規募金箱設置件数 24件

募金箱交換件数 1267件

募金箱設置先情報

	2022年3月現在の設置件数	1591
1	定期的に交換	1106
2	フェニックス絆様にて交換	50
3	そのだライオンズクラブ様にて交換	53
4	神戸市獣医師会様にて交換	58
5	振込のため交換しない	84
6	連絡つかない等、交換できていない(先延ばし含む)	240
	合 計	1591

(4) 街頭募金の定期的実施

協会募金活動ボランティア、高等学校やライオンズクラブ様と協力して安定的な事業運営の為の募金活動を行った。

(5) 自動販売機設置の拡大

新規自動販売機件数 4 件

自動販売機設置件数 41 件(令和3年3月31日現在)

(6) クラウドファンディング挑戦

盲導犬の医療費を確保する目的で3月15日～4月30日(47日間)までREADYFORのサービスを使いクラウドファンディングを行い目標の500万円に対して544.5万円を達成することができた。

(7) ボランティアの養成

盲導犬育成事業への支援ボランティア(事務及びイベント関係)の確保とその有効活用を図るため1月中旬からグループウェア(ラインワークス)が稼働している。

(8) その他、目的を達成するために会議を行った。

毎月上旬に全体会議、貸与委員会会議を行った。

第3火曜日に犬舎会議、毎月上旬に事務局連絡会を開催し、効率的な組織運営や資金獲得に向けて職員の相互理解、意識を高めて目的に向けて活動するよう努めた。

それ以外にも随時、CC犬、R犬譲渡委員会会議、医療費助成検討会議、助成金ミーティング、ボランティア関連会議を行った。

(9) 職員のスキルアップや技術の向上を図るための研修に参加

- 視覚障害者就労支援研修(zoom) 3名
- 兵庫補助犬研究会(zoom) 5名
- 盲ろう者理解セミナー 8名
- 防災センター見学 5名
- ロイヤルグルーミング研修 1名

施設整備

(1) ボランティアの協力を得て、定期的にドックランや協会周辺の草刈りをおこない、環境美化と犬たちの安全な訓練のための環境整備をおこなった。

更に下記の助成金を活用し各種備品を購入した。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ◦ 木口福祉財団 | 中山 KLC オフィス用備品(96 万円) |
| ◦ 毎日新聞大阪社会事業団シンシア基金 | パピーコート(20 万円) |
| ◦ NHK 歳末たすけあい義援金 | マイク・スピーカー(6 万) |
| ◦ 神戸やまぶき財団前期 | 訓練犬運搬専用車(237 万円) |
| ◦ 神戸やまぶき財団後期 | 犬用ドライヤー、洗浄機他(36 万円) |